

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：丘のりんご

調査実施期間：令和4年2月10日～令和4年2月21日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		・ガレージ、公園などを活用し利用時間の工夫を行い、スペースの確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			・適切だが、緊急時の対応が厳しい時があるためもう少し余裕があると良いと感じる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			・不都合を感じる事は無いが、肢体不自由児が利用される際には、少し改善が必要になるかもしれない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			・個別支援計画、週案などが立てられている。 ・常に全員で取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・常にチームで話し合いの時間を設け意識付けている。 ・保護者からの声をお聞きしてより良い支援に繋げていけるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		・公開することで自らの気を引き締める良いきっかけとなっている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	4	・現在、外部評価は行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・積極的な研修の参加、研修内容の共有ペアトレの職員参加。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・保護者、本人と定期的面談し計画に反映、アセスメントしてチームで共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・知恵や経験を出し合いながら考えている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			・利用児の成長に合った支援となるようにしている。 ・季節の製作をすることで毎月様々な作業工程を経験している。 ・情報収集を常に意識している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課	6			・滞在時間により活動内容を考え計画して

	題をきめ細やかに設定して支援しているか				いる（学習・運動・製作等）。 ・長時間・毎日の利用児にマンネリ化にならないよう特に配慮している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・個々の状態把握に気を配っている。 ・無理をさせすぎないように注意して支援を行う。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・チームで必ず短時間でも話す時間を設けている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・利用児のその日の行動や発言について職員間で共有し対応等を検討している。 ・毎日必ず振り返りをしながら記録を書いている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・日々の記録から今後の支援に繋がられるよう努力している。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・変化のある児童にはこまめにもたりんぐを行っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6			・意識しようと心がけている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・児発管が参加している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・学校へ迎えに行った時など先生からの話を必ず伝え共有をする。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1		・現在、医ケア児利用なし。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		・該当児なし。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		・ケースがないためどちらとも言えない もしそのような場合にはきちんと対応したい。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	1	・交流を行いたいと考えてはいるが、コロナ渦のため思うような活動ができずにいる。 ・コロナ渦で感染の心配があり子ども部会等、他事業所や公的機関との会議の場で

					課題にし検討していきたい。
	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6		・子ども部会へ参加している。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・少しの変化でも連絡帳や電話でこまめに伝えようと努力している。 ・送迎時に子どもの様子を保護者へ伝えるよう努めている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6		・心配な保護者には声を掛けている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・悩み、困り事などその都度しっかり話を聞き助言できればと努めている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		・父母会は活動を行っていないが要望があれば支援したい。 ・保護者会の前後にもしっかり時間を設けるなどして工夫している。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	7		・苦情を頂いた時は職員間で共有し改善に向けて話し合いを行い対応している。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・会報誌で日々の子どもの様子が伝えられるようにしている。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	7		
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・送迎時や日々の連絡帳、電話等でコミュニケーションを取っている。 ・通訳の方の同席など相違がないよう配慮している。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		・コロナ渦で思うような活動ができないが、地域の方と交流、共に楽しめる活動を行いたい。 ・ガレージコンサートを開催した。地域住民も招待して実施した。
	非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	
㉜		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・学期ごと、年2回以上は訓練を行うようにしている。
㉝		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・委員会による研修を開催した。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			<p>・ヒヤリハット発生時は報告書を提出し、書面にて全職員に情報共有し再発防止に努めている。</p>